

証券コード：6549 ディーエムソリューションズ株式会社 代表取締役社長 花矢 卓司

第18回定時株主総会決議ご通知

2022年6月29日（水）開催の当社第18回定時株主総会におきまして、
下記の通り報告及び決議されましたので、ご通知申し上げます。

報告事項

- 第18期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 第18期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）計算書類報告の件

決議事項

- 第1号議案 定款一部変更の件
第2号議案 取締役6名選任の件
第3号議案 会計監査人選任の件
以上

会社情報（2022年3月31日現在） About us

会社概要

商号	ディーエムソリューションズ株式会社	従業員数（連結）	正社員269名、その他194名
証券コード	6549	事業内容	■ダイレクトメール及び宅配便の発送をワンストップで行う発送代行事業 ■Webマーケティングサービス及び自社メディアサイトの運営等を行うインターネット事業
設立	2004年9月15日		
資本金	3億4,259万円		
本社所在地	東京都武蔵野市御殿山1丁目1-3 クリスタルパークビル2F		

役員（2022年6月29日現在）

代表取締役社長	花矢 卓司
取締役副社長	福村 寛敏
取締役	勝山 純一
取締役	木村 和央
取締役	小林 剛司
取締役※ ¹	松藤 悠
常勤監査役※ ²	宮本 則昭
監査役※ ²	齋藤 哲男
監査役※ ²	高見 之雄

※¹ 社外取締役 ※² 社外監査役

拠点情報

愛知県 ■名古屋営業所 ■名古屋メールセンター	宮城県 ■仙台営業所
大阪府 ■大阪営業所 ■大阪メールセンター	東京都 ■本社 ■新宿オフィス ■三鷹メールセンター ■八王子第1メールセンター ■八王子第2メールセンター ■八王子第3ロジスティクスセンター ■八王子第4フルフィルメントセンター ■八王子第5フルフィルメントセンター ■日野フルフィルメントセンター
福岡県 ■福岡営業所	神奈川県 ■横浜営業所



ディーエムソリューションズ株式会社

〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1丁目1-3 クリスタルパークビル2F



Business Report

ディーエムソリューションズ株式会社

2022年3月期 事業報告書 2021年4月1日～2022年3月31日

特集

TOP INTERVIEW

お客さまが必要 とする全ての 「もの」と「こと」をつなぐ 会社。

お客さまが求める「ソリューション」をリアル×ネットで創出する。



IRサイトのご案内

当社は、株主・投資家の皆様にタイムリーでわかりやすい情報発信を目指し、IRサイトの充実を図っております。ぜひ一度お立ち寄りください。

ディーエムソリューションズ IR



検索

スマートフォンでIRサイトへ

Webで閲覧可能

当社の株主通信は冊子、Webどちらでも閲覧することができます。



上記のQRコードからご覧いただけます。
<https://ir-p.jp/dms/report/index.html>

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2022年3月期の事業活動と業績についてご報告させていただきます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が依然として収束しない中で、ウクライナ情勢の影響などにより、先行きの不透明な状況が続いております。

このような状況の下、主たる事業であるダイレクトメール事業、DM発送サービスにおいては、当社の強みである営業力を生かした新規顧客の開拓及び取引社数の多さ、業種分散が功を奏し、売上高についてはコロナ禍前の水準を大きく上回りました。フルフィルメントサービスにおいても、物流センターの増床効果など計画通りビジネスが拡大しております。インターネット事業におきましては、コンサルティング型マーケティングサービスの提供を強化するとともに、ウェブサイトのコンテンツ制作ノウハウを生かしたバーティカルメディアサービスにも引き続き注力いたしました。当期より展開しているアパレル事業ではデジタルマーケティングサービスやフルフィルメントサービスとの連携によるマーケティング支援、物流支援による新規顧客及び既存顧客取引の拡大、メーカー別注によるオリジナル商品の開発など今後の成長に向けた施策を実施いたしました。



その結果、過去最高の売上高を計上するも、前期に業績を大きく牽引したバーティカルメディアサービスがアルゴリズム変更の影響を受け低調であったことから、減益となりました。

2023年3月期は当社の強みを生かした飛躍的成長に向け、引き続き事業強化と育成に注力し、利益回復に邁進していく所存です。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月吉日
代表取締役社長

花矢 卓司

- P.1 当社の事業領域
- P.2 株主の皆様へ
- P.3 特集／TOP INTERVIEW
- P.7 業績ハイライト

- P.9 ディーエムソリューションズ ラウンジ
- P.10 株式の情報
(株式の状況・所有者別株式分布状況・大株主の状況・株主メモ)
- 裏表紙 第18回定時株主総会決議ご通知
会社情報(会社概要・役員・拠点情報)

教えてください！ 花矢社長

これからのDM-S 飛躍に向けての展開は？

当期の振り返り、投資施策の進捗、今後の戦略など、
花矢社長にお話を伺いました。



Q 2022年3月期を振り返って、事業の状況を教えてください。

ダイレクトメール事業は、DM発送サービスの安定成長によりコロナ禍前を大きく超え、投資を進めるフルフィルメントサービスも順調に拡大、売上高は大幅な増収となる。一方、パーティカルメディアサービスの回復の遅れが利益を大きく押し下げ大幅な減益

2022年3月期は、将来の大きな成長を目論み、戦略的な事業投資と事業基盤の強化に努めました。

当社の主力事業であるDM発送サービスは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響がなかった2020年の業績を大きく超える水準に伸長しました。コロナ禍などにより業界全体が低迷する中、ここまで売上を伸ばすことができた理由は、取引業種が集中しておらず業種分散ができていること、そして何より、当社の強みである営業力によるところが大きいと考えております。コロナ禍においてDM発送を取りやめるお客様もいらっしゃいましたが、これを上回る新規受注により売上を伸ばすことができました。加えて、積極的に進めた設備投資も売上拡大に寄与いたしました。シェア

拡大は、仕入れ単価など多くのアドバンテージが得られるため、来期に向けて大きな力になると考えています。

当社が重点注力しているフルフィルメントサービスでは、今後の拡大に向け、前期に続き積極的な投資を進めました。営業面でも大型の物流アウトソーシング案件を受注するなど、投資と事業拡大の好循環が始まっております。

その一方で、前期に業績を大きく牽引したインターネット事業においては、Webコンサルティングを行うデジタルマーケティングサービスは概ね好調だったものの、Googleのアルゴリズムの影響を大きく受けたパーティカルメディアサービスの回復が進まず、減益となりました。

Q 投資施策の進捗について詳しく教えてください。

日野フルフィルメントセンターの増床により、 宅配便の取扱いは過去最高に

フルフィルメントサービスにおいては、2021年10月に、当社の最大拠点である日野フルフィルメントセンターを増床しました。この増床により、同センターはこれまでの約2倍の広さとなり、受託処理能力と出荷処理能力が大幅に向上しました。2020年に新設した八王子第5フルフィルメントセンターも順調に稼働しており、今後も事業の拡大に邁進します。



名古屋メールセンターの新設で中部エリアの事業拡大に期待

2021年11月に、当社としては9拠点目の物流拠点となる名古屋メールセンターをオープンいたしました。中部・西日本エリアにおけるDMや宅配便等の発送代行サービスは、毎年順調に取り扱いを伸ばしており、2022年3月期においてはダイレクトメール事業の売上高の30%を超えるほどでした。今回、名古屋に新たな拠点を開設したことで中部エリアにおけるさらなる事業拡大を見込んでおります。



ビアトランスポーツは円安の影響を受けるも堅調

2021年4月にM&Aにより子会社化した（株）ビアトランスポーツは、当期のポイントであった事業基盤の整備が進捗いたしました。販売面は、概ね計画に沿い堅調に推移しているものの、下期以降の急激な円安の影響を受け利益面では苦しい展開となりました。同社が手掛ける無地Tシャツ等のベーシックウェアの需要は、景気や新型コロナウイルスなど外部環境の影響を受けにくく、年々上昇傾向にあります。2022年8月に完成予定の新たなウェブサイトも活用しながら、当社におけるECサービスの顔として幅広く展開してまいります。





その他、今後に向けてのトピックスがあれば教えてください。

フルフィルメントサービスにおいて最新機械を導入し、仕分け業務を大幅に効率化

事業拡大が続く、宅配便等の小型荷物発送業務において、商品を自動的に仕分けする立体型ソーターを導入。仕分け業務をオートメーション化することで、業務の効率化、ミスの削減、省人化が大きく進み利益率の上昇に寄与するものと考えております。当社では、化粧品や雑貨などの小型商品やサンプル商品の仕分けに活用する予定で、この分野における競争力の強化と受注拡大を図ります。



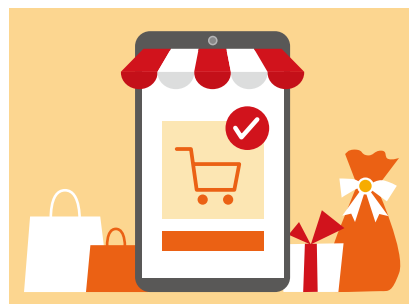
インターネット事業では、当社独自ノウハウを取り入れたアクセス解析ツールを開発

インターネット事業における新たな施策として、お客様のウェブサイトの欠点がひと目でわかるアクセス解析ツールの開発を進めています。これまでのビジネスで培った当社独自のノウハウを余すところなく取り入れ、リーズナブルな価格で提供します。2023年3月期中にローンチする予定です。



新たなシナジー創出のために通販ビジネスに注力

通販ビジネスの強化は、フルフィルメントサービスやインターネット事業とのシナジー創出の中心となるため、積極的に取り組みを進めたいと考えています。引き続きビアトランスポートのサービス拡大への注力を継続するとともに、マヌカハニーを販売している「BeeMe」等も展開を進めてまいります。



2023年3月期の位置づけと、これからの成長戦略について教えてください。

将来のさらなる飛躍のためにそれぞれの事業の底上げを図り、各事業間のシナジーを追求

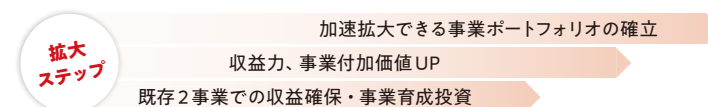
2022年3月期は、コロナ禍が継続する厳しい事業環境の中、既存ビジネスの拡大と積極的な投資を推進し、会社の売上規模を拡大することができました。2023年3月期も引き続き、既存ビジネスの強化・拡大、新規ビジネスの基盤整備に努め、今後の飛躍に向けた準備を一層進めてまいります。

ダイレクトメール事業においては、当社の強みである営業力を生かし事業拡大に邁進するとともに、フルフィルメントサービスにおいては、今回投資を行った自動仕分けシステムの稼働や増床した日野フルフィルメントセンターの稼働率UPを図ります。通販ビジネスにおいては各種商品の売上UPに重点的に取り組みます。また、

バーティカルメディアサービスにおいては、事業の底上げを急ぐとともに、デジタルマーケティングサービスを始めとする他サービスとの連携を推進し、新たなシナジーの創出に注力していきます。

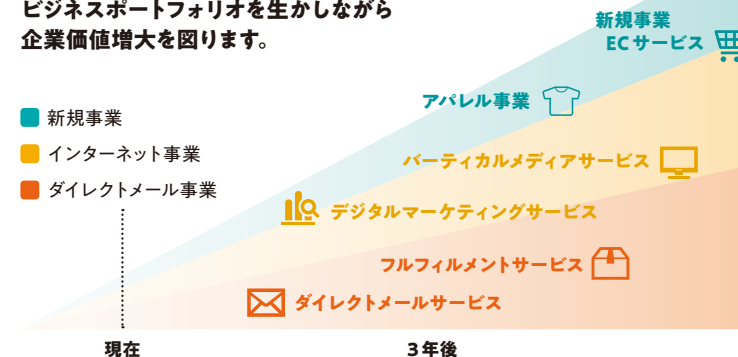
さらに、ECビジネスにおける新領域にも目を向けながら、シナジー創出のためのさまざまな施策を遂行していきたいと考えています。M&Aについても、物流、インターネット広告、デザインなど、シナジー効果を期待できる分野であれば積極的に検討していきたいと思っています。成長にはリスクがつきものですが、全社一丸となって、必ずや目標を成し遂げる決意です。株主の皆様は、ぜひご期待ください。

リアル・ネット2つのインフラを最大限生かし、事業ポートフォリオを拡大 他に類を見ないソリューションカンパニーへ



ビジネスポートフォリオを生かしながら企業価値増大を図ります。

- 新規事業
- インターネット事業
- ダイレクトメール事業



各事業の位置づけと方針

●2つの基盤がなす **飛躍ビジネス**

EC、EC周辺領域で新たな柱となる事業の創出・育成・拡大に尽力

●競争力を高め、他事業拡大も支援する **キービジネス**

22年23年は拡充のための育成期間、24年3月期以降の大きな利益寄与を目指す

●競争力の高い **基盤&成長ビジネス**

トップシェアのダイレクトメールサービスの土台にフルフィルメントサービスの成長を加速させ、安定収益基盤として強化・拡充を図る

(単位:百万円)

2022年3月期 (単位:百万円)

(業績)	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績
売上高	14,621	16,682
営業利益	659	98
経常利益	660	101
親会社株主に帰属する 当期純利益	427	5

- ✓ 前期比14.1%増収。過去最高売上高166億円。
- ✓ パーティカルメディアサービスの低調が影響し、減益となる。

2023年3月期 (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
連結業績予想	17,972	220	223	144

- ✓ 前期比7.7%増の約180億円の売上を計画。
- ✓ 5つのビジネスを展開する強みを生かし利益回復に邁進し、営業利益倍増を目論む。

※当社は2021年4月1日付で株式会社ピアトランスポートを子会社化しております。これに伴い2022年3月期より連結決算となっております。

決算説明動画

業績や今後の取り組みについての決算説明動画を配信しています。ぜひご覧ください。

右のQRコードからご覧いただけます。

<https://irp-system.net/presenter/?conts=01fnywkt6sg53r4c5qd5ax0bc4>



IRメール登録のご案内

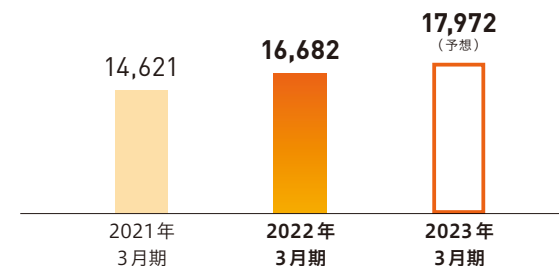
当社ではIRに関する情報をタイムリーにお知らせするIRメールを配信しております。ぜひ、ご登録ください。

右のQRコードからご覧いただけます。

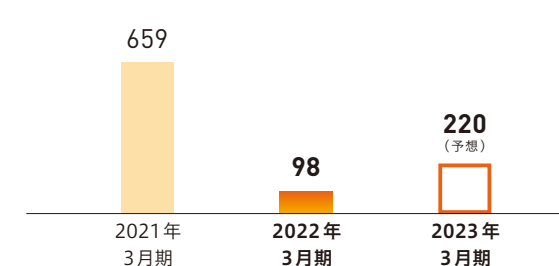
<https://www.magicalir.net/6549/mail/index.php>



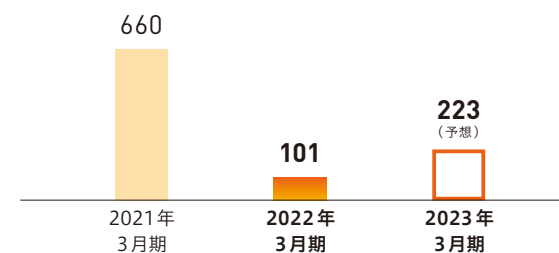
売上高



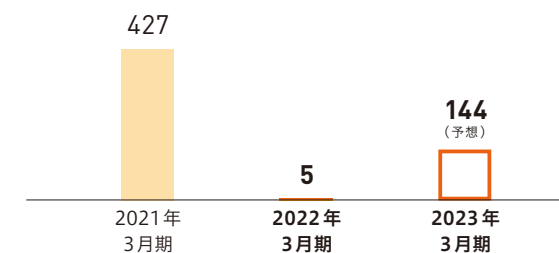
営業利益



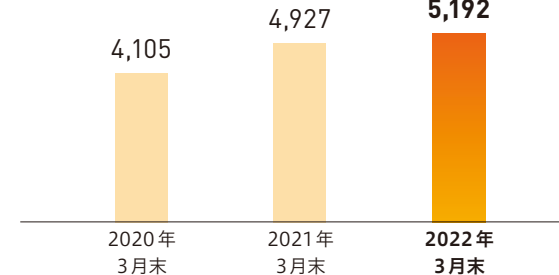
経常利益



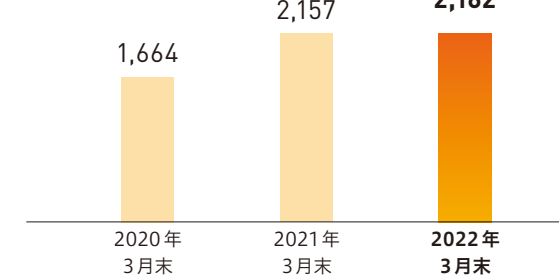
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産



純資産



※当社は、2021年4月1日付で株式会社ピアトランスポートを子会社化しております。これに伴い、2022年3月期より連結決算となっております。

ディーエムソリューションズ
ラウンジ

事業のトピックスやお知らせなど、
株主様とのコミュニケーションコーナーです。

株主優待予定商品
4,000 円 ~ 5,000 円相当の
エスバルセットハニー

株主優待制度

毎年、3月31日現在の株主名簿に記載されている株主様のうち、当社株式を2単位（200株）以上保有され、且つ1年以上継続して保有されている株主様を対象に株主優待商品を進呈します。

次回、2023年3月期の
株主優待（2023年6月進呈）について

当社株式を2単位（200株）以上保有いただき、且つ、2022年3月31日、9月30日、2023年3月31日各時点での株主名簿に連続して記録された株主様に進呈となります。

※今後、仕入れや在庫の状況によって商品が変わる場合がございます。

〈2023年6月進呈分〉

継続保有

2022年3月 → 9月 → 2023年3月 → 9月 → 2024年3月 →

GET

継続保有

〈2024年6月進呈分〉

数字でみる

33年

2022年3月現在

ディーエムソリューションズ

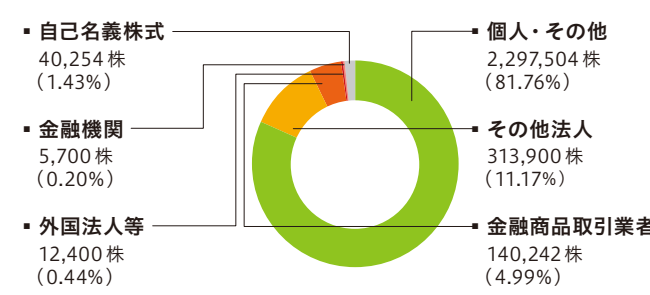
これは当社グループ企業の㈱ビアトランスポートの創業年数です。今では、非常に人気の高いアメリカ製の無地Tシャツ等のベーシックウェアにいち早く着目し、ECビジネスを展開。景気や流行に影響されず、安定した需要が見込めるアメリカ製ベーシックウェアだからこそ、30年以上にわたり事業が発展し続けています。当社のフルフィルメントサービス及びインターネットサービスとも連携し、さらなる拡大に取り組みます。

株式の情報 （2022年3月31日現在） Stock information

株式の状況

発行可能株式総数	8,800,000株
発行済株式総数	2,810,000株
株主数	1,725名

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日 （そのほか必要がある場合は予め公告いたします）
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL：https://www.dm-s.co.jp やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
花矢 卓司	909,800	32.85
福村 寛敏	568,700	20.53
アセットインクリーズ株式会社	260,000	9.39
株式会社SBI証券	89,518	3.23
中村 剛	51,500	1.86
丸谷 和徳	50,300	1.82
松本 和久	50,000	1.81
楽天証券株式会社	34,500	1.25
株式会社北斗	30,000	1.08
ディーエムソリューションズ社員持株会	26,700	0.96

※持株比率は自己株式を控除したうえで、小数点以下第3位を四捨五入して計算しております。

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711（フリーダイヤル） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
各種事務手続き	詳しくは、こちらのページにてご確認ください。 https://www.tr.mufg.jp/daikou/